

日本のラーニングコモンズの 特色と今後の方向性

大学教育との関係性を中心に

日本大学文理学部 小山憲司



2016年1月29日
平成27年度国立大学図書館協会シンポジウム
@東京大学伊藤国際学術センター・伊藤謝恩ホール



目次

- 日本のラーニングコモンズの足跡
- ラーニングコモンズの現状
- 大学教育のトレンド
- まとめ

日本のラーニングコモンズの足跡(1)



CA Current Awareness Portal
図書館に関する情報ポータル

検索

English / 日本語 

[CA-R](#) [CA-E](#) [CA](#) [調査研究](#)

カレントアウェアネス・ポータルは、図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせする、国立国会図書館のサイトです。

ホーム » カレントアウェアネス » 2006年 (通号No.287-No.290 : CA1582-CA1621) » No.289 (CA1600-CA1608) 2006.09.20

CA1603 - インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援 / 米澤誠

PDFファイルは[こちら](#)

カレントアウェアネス
No.289 2006年9月20日

CA1603
動向レビュー

インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ：大学図書館におけるネット世代の学習支援

はじめに：インフォメーション・コモンズの誕生

コモンズとは、「共有資源」、「公共の場」を意味する言葉であり、インフォメーション・コモ

カレントアウェアネス・ポータルでは、2014年6月23日から9月26日まで利用者アンケートを実施しました。集計結果の概要を[こちら](#)に掲載しています。ご協力ありがとうございました！

東日本大震災 関連情報

「災害」に関する当サイトの記事 

調査研究レポート「東日本大震災と図書館」

国立国会図書館 東日本大震災復興支援ページ

地震・災害 関連情報 (レファレンス協同データベース)

各地の図書館等の被災情報等について (外部リ

出典 : <http://current.ndl.go.jp/ca1603>, (参照2016-01-18)

日本のラーニングコモンズの足跡(2)

amazon.co.jp **プライム** **カゼのタイプで選ぶなら** **ハンザブロックプラス** **最短で当日お届け** 広告

Amazonポイント: 残高を確認 **こんにちは。サインイン** **今すぐ登録** **カート** **ほしい物**
 マイストア **アカウントサービス** **プライム** **リスト**
 カテゴリー

4件の結果 "ラーニングコモンズ"

並べ替え:

カテゴリ

本 >

人文・思想

絞り込み

配送オプション (詳細)

✓ **プライム** 国内配送料無料

海外配送 (詳細)

 AmazonGlobal対象

世界のラーニング・コモンズ 2015/4/9
溝上 智恵子

単行本

¥ 3,672 ✓ **プライム**

残り3点。注文はお早めに。

この商品の買取価格を確認する
通常配送無料

本: 全4点を見る



ラーニング・コモンズ: 大学図書館の新しいかたち 2012/7/31
加藤信哉、小山憲司

単行本

¥ 4,212 ✓ **プライム**

ポイント: 84 pt (2%)
残り3点。注文はお早めに。

こちらからもご購入いただけます
¥ 3,078 中古 & 新品 (4 出品)

この商品の買取価格を確認する
通常配送無料

本: 全4点を見る

★★★★☆ ▾ 1



学びの空間が大学を変える 2010/5/21
山内 祐平、林 一雅

新書

¥ 2,037 ✓ **プライム**

ポイント: 41 pt (2%)
残り2点。注文はお早めに。

こちらからもご購入いただけます
¥ 500 中古 & 新品 (9 出品)

この商品の買取価格を確認する
通常配送無料

本: 全4点を見る

★★★★★ ▾ 1



日本のラーニングコモンズの足跡(3)

CiNii

日本の論文をさがす

大学図書館の本をさがす

日本の博士論文をさがす

新規登録

ログイン

English

論文検索

著者検索

全文検索

ラーニングコモンズ

検索

すべて

CiNiiに本文あり

CiNiiに本文あり・連携サービスへのリンクあり

▽ 詳細検索

検索結果： 228件中 1-20 を表示

1 2 3 4 5 6 ... 12 >

すべて選択： 新しいウィンドウで開く 実行 20件ずつ表示 出版年：新しい順 表示

 **図書館の利用を増加させるラーニング・コモンズ像に関する基礎調査** 1

辻 慶太

図書館の利用を増加させるラーニング・コモンズ (LC) 像を調査分析した。具体的には、小山 (2012) に示されている24のLCをサンプルとし、『日本の図書館：統計と名簿』に記されている入館者数、貸出数、参考受付総件数を利用量として取り上げ、これらを増加させるLCの要素を分析した。結果、プリンタ、コピー機、ノートPCがあり、学生一人当たりコンピュータ設置台数が多く、さらにTA・SAによる支援があって、1…

図書館界 67(4), 210-227, 2015-11

[機関リポジトリ](#)

 **利用実態からみるラーニング・コモンズの学習行動：学年別の差異に着目して** 2

鈴木 夕佳, 岡部 晋典, 浜島 幸司

第一部研究論文・文献紹介<研究論文>本研究では、同志社大学 良心館ラーニング・コモンズ (以下、LC) の利用に関する記録を分析することによって、学生の学習行動、中でも学年別の差異について考察する。分析対象として用いたデータは、(1) 入室者、(2) エリア使用状況、(3) 学習相談の3種類である。以上の分析により、利用する学生の学部や学年等の要因によって、LCの利用のあり方、学習行動にそれぞれ…

同志社大学学習支援・教育開発センター年報 (6), 51-73, 2015-10-23

[機関リポジトリ](#)

 **良心館ラーニング・コモンズ高頻度利用者の学習特性**

浜島 幸司, 鈴木 夕佳, 岡部 晋典

関連著者

 島本 春花 田上 健一 中井 孝幸 大山 真司 岡部 晋典 楠川 充敏 浜島 幸司 鈴木 夕佳 中谷 良規 井上 真琴 村上 正行 梶原 飛鳥 櫻井 待子 池山 幸志 溝上 智恵子 若園 雄志郎 辻 慶太出典：<http://ci.nii.ac.jp/>での検索結果 (参照2016-01-18)

日本のラーニングコモンズの足跡(4)

日時	タイトル
2012年11月	質的転換を図る大学教育と図書館—ラーニング・コモンズの先にあるもの(第14回図書館総合展フォーラム)
2012年12月	ラーニング・コモンズ再考(平成24年度国立大学図書館協会シンポジウム)
2013年8月	アクティブ・ラーニングとはなにか(大学図書館問題研究会第44回全国大会(つくば)オープン・シンポジウム)
2014年2月	伝統的な図書館を超える図書館活動—学修支援の実際—(国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会事例報告会)
2014年11月	学びの空間デザインとファシリテーション～図書館を活用した学習支援を考える～(第62回日本図書館情報学会研究大会シンポジウム)
2015年1月	学生の学習活動を促すもの—実践と理念としてのラーニングコモンズ(平成26年度国立大学図書館協会シンポジウム)
2015年10月	学習支援の次なるStep—ラーニング・コモンズと情報リテラシーの美しい関係(第101回全国図書館大会第2分科会)

日本のラーニングコモンズの足跡(5)

比較 キーワード ▾

ラーニングコモンズ
検索キーワード

+キーワードを追加

人気度の動向 ?

2014年7月 ?

予測 ?

2011年6月



日本のラーニングコモンズの足跡(6)

比較 キーワード ▾

ラーニングコ...
検索キーワード

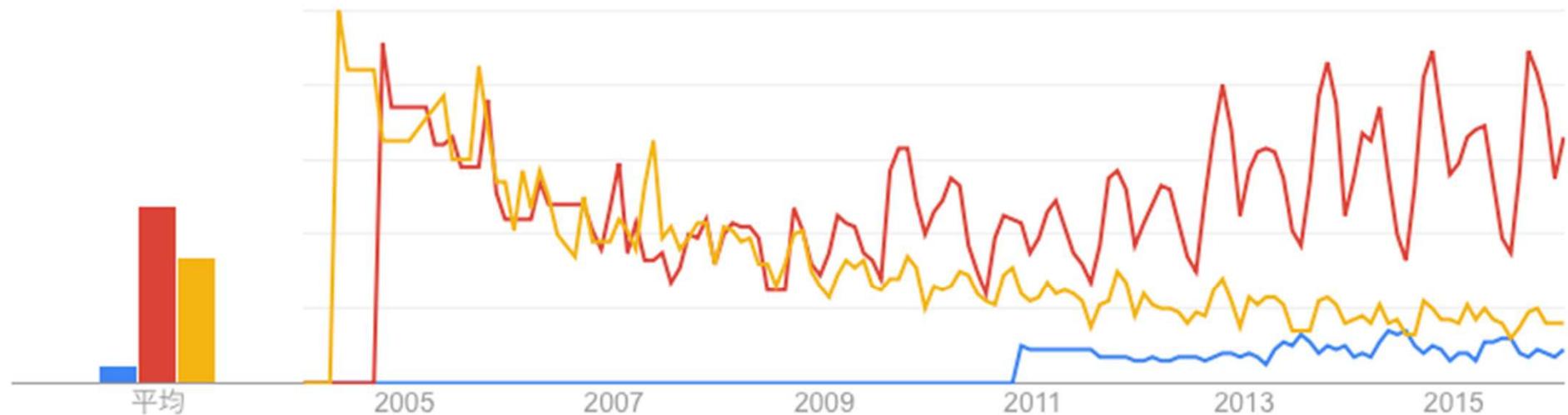
learning com...
検索キーワード

information c...
検索キーワード

+キーワードを追加

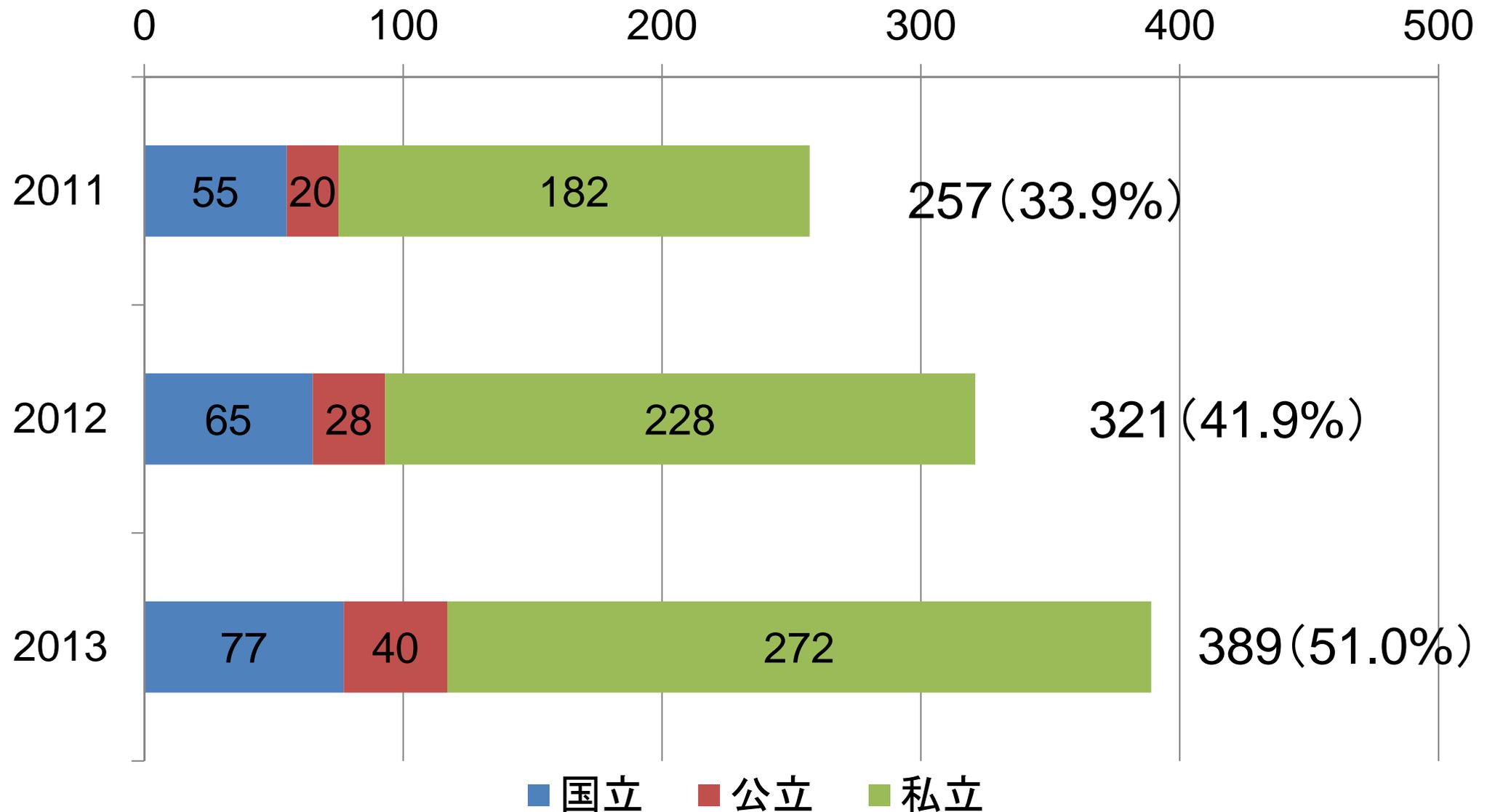
人気度の動向 ⓘ

■ ニュースのヘッドライン ⓘ ■ 予測 ⓘ



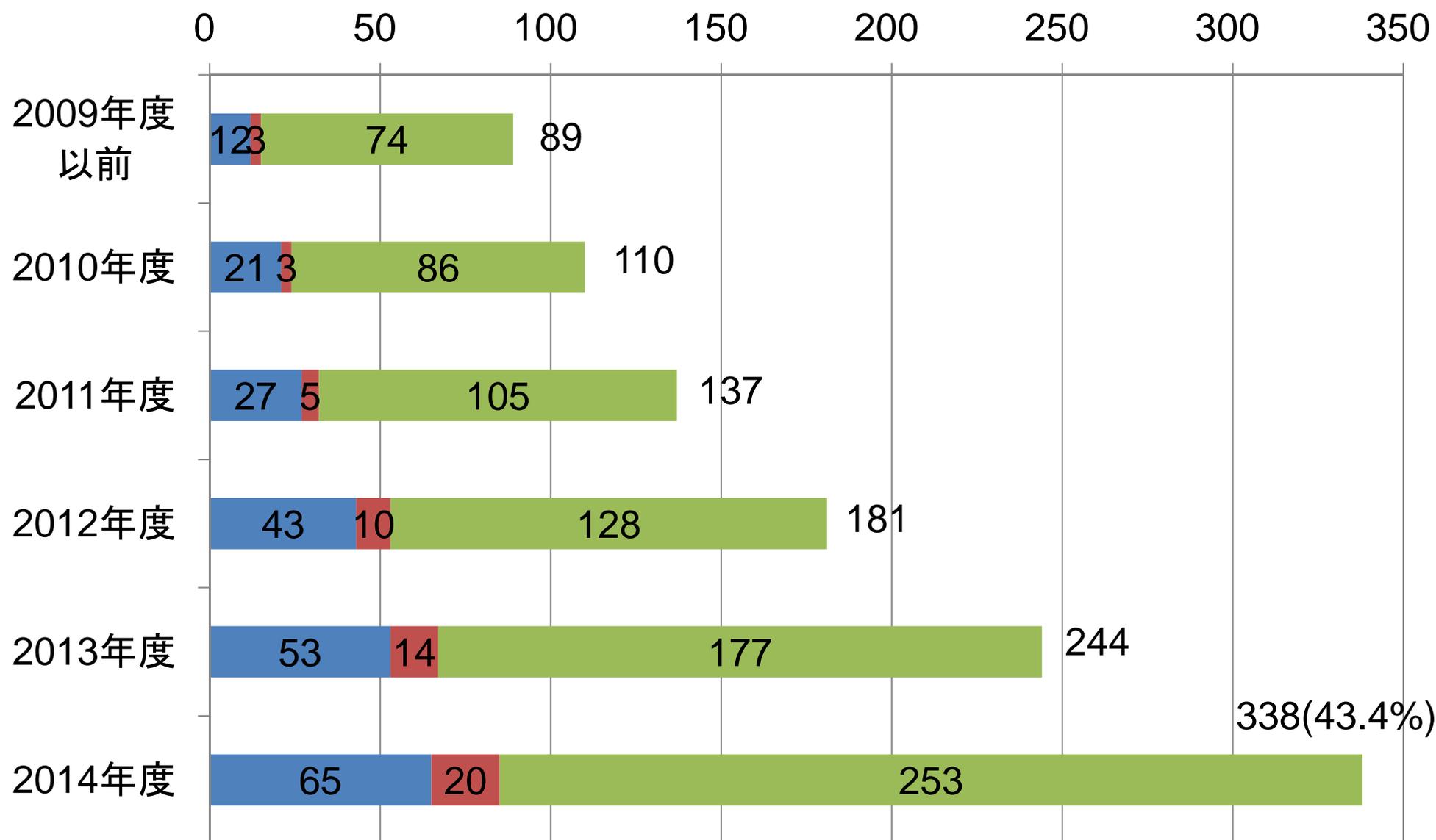
</>

ラーニングコモンズの普及状況



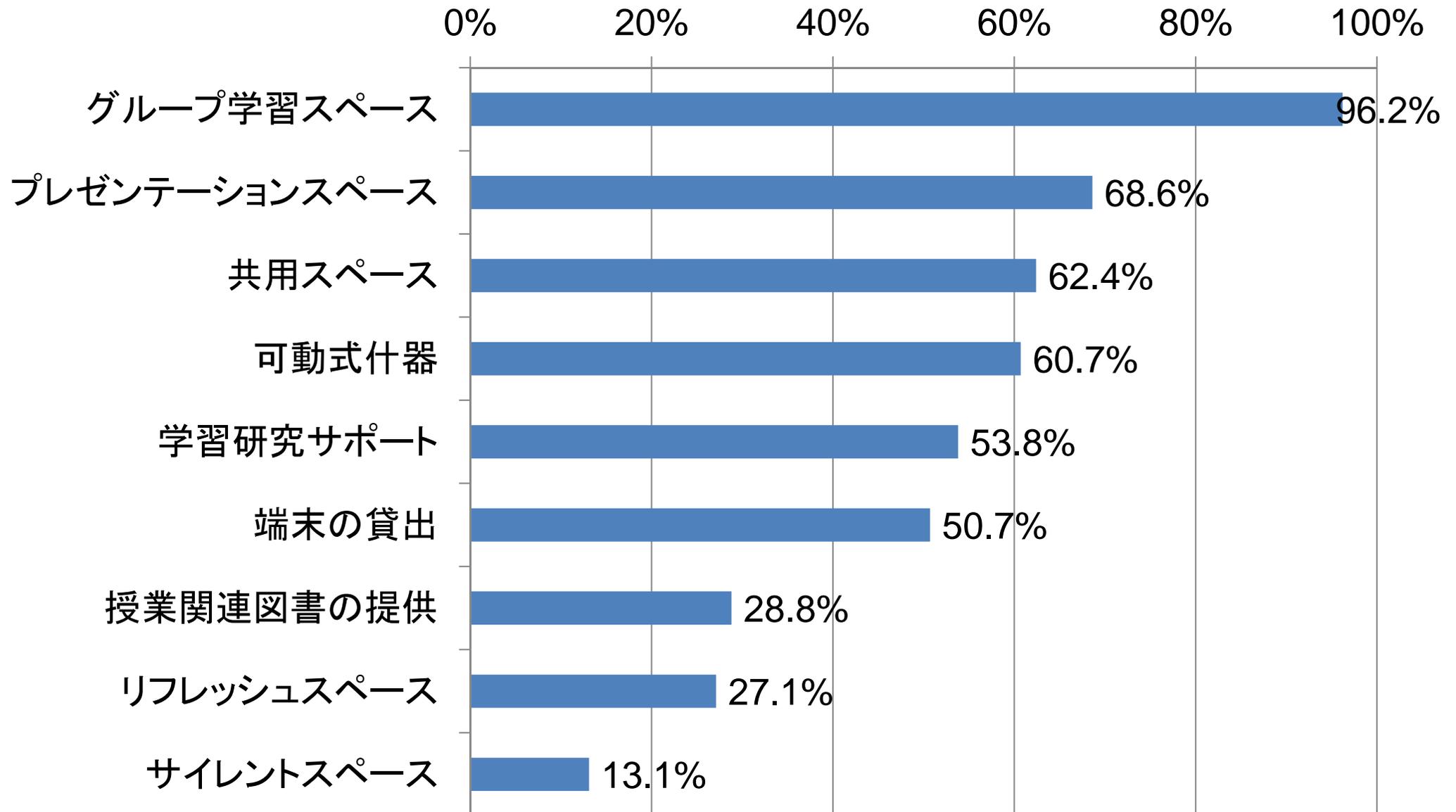
(出典: 文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室. 大学における教育内容の改革状況等について(平成25年度).
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/1361916.htm, (参照2016-01-18).)

アクティブラーニングスペースの普及状況

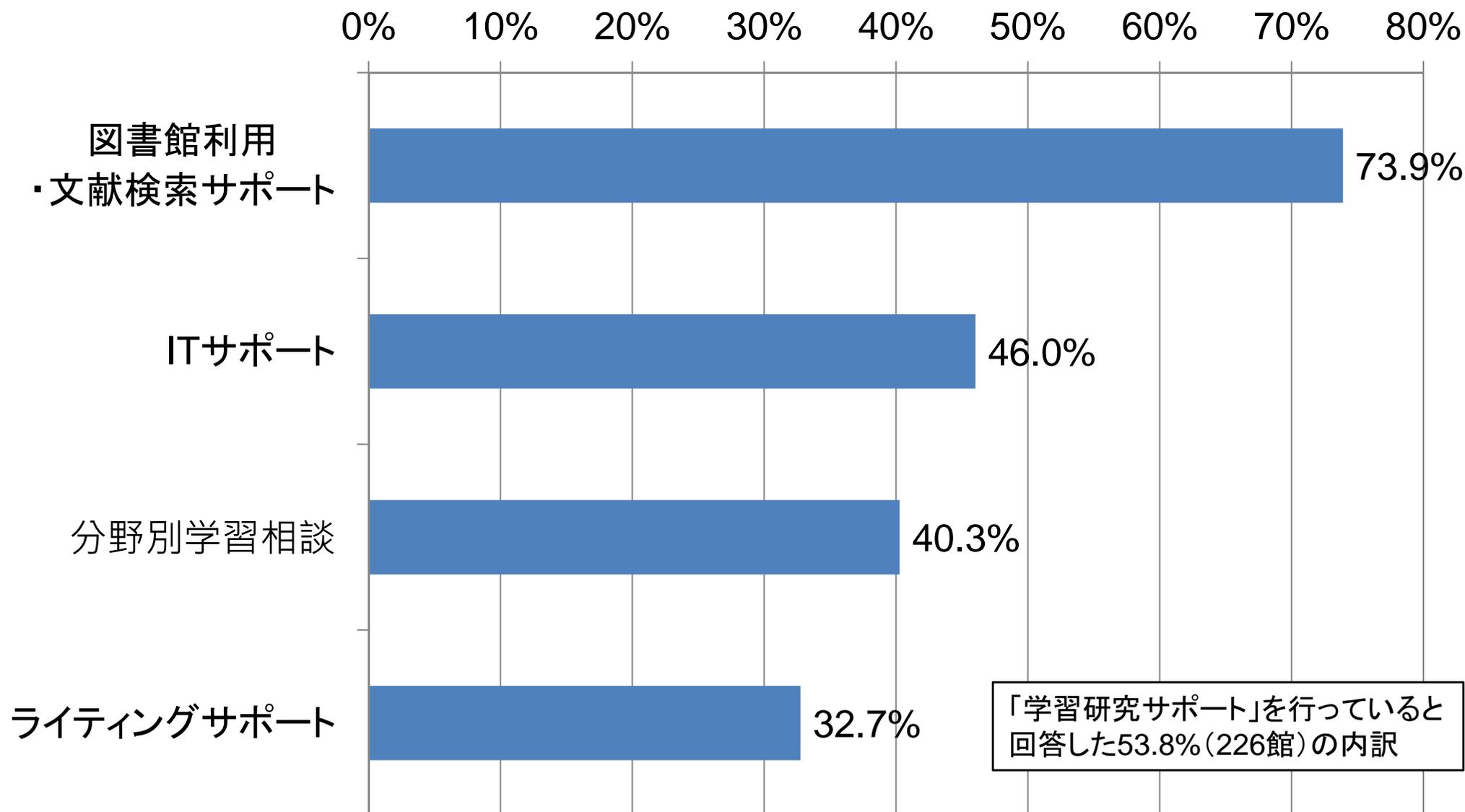


(出典: 文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付. 平成26年度学術情報基盤実態調査結果報告.
http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhoukiban/1266792.htm, (参照2016-01-18).)

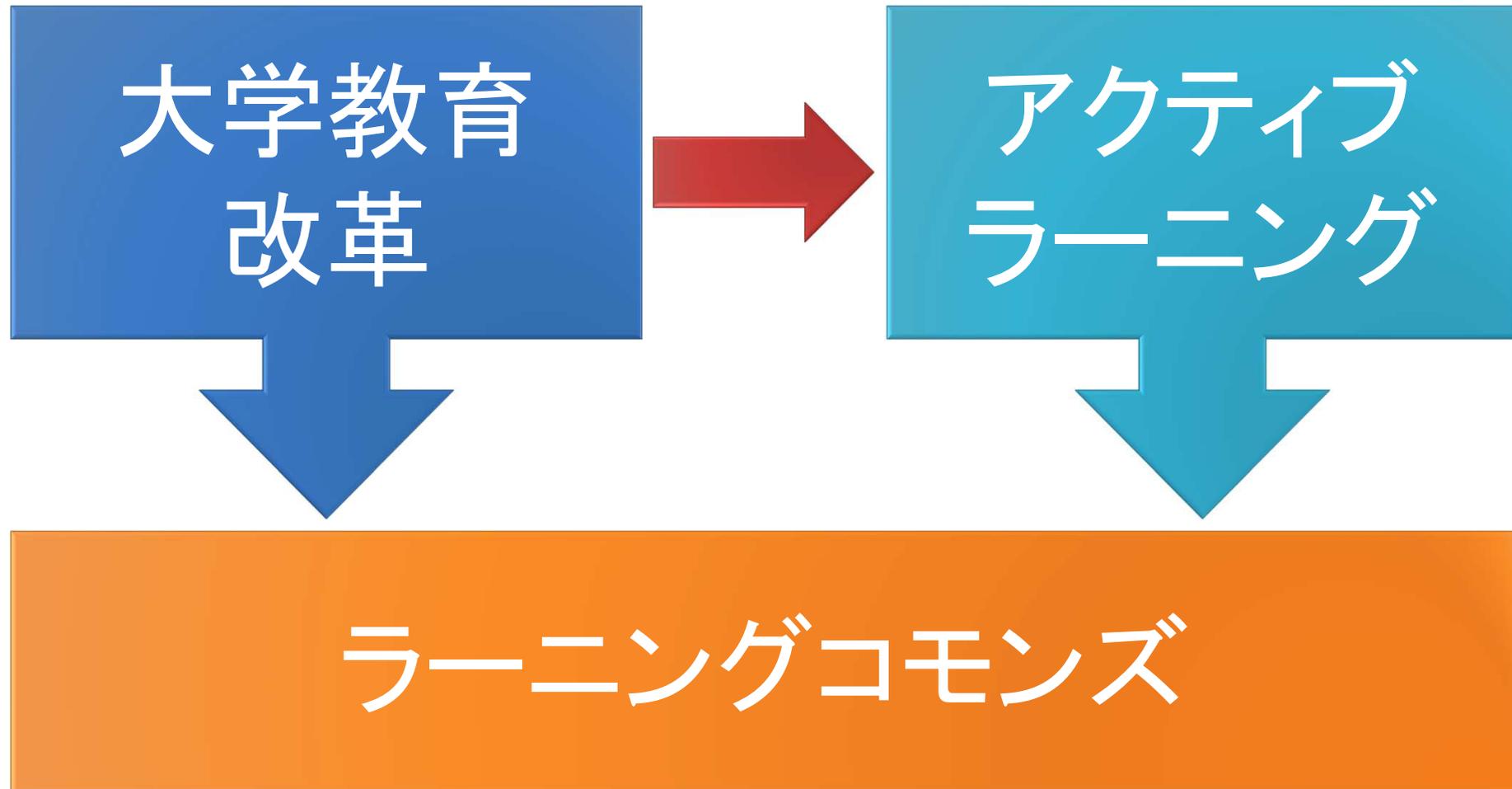
アクティブラーニングスペースの内訳(2015)



「学習研究サポート」の内訳(2015)



2つの調査を見ると、



大学教育のトレンド

大学教育の
パラダイム
シフト

教育中心から学習中心へ

教員中心から学生中心へ

知識の伝達から知識の定着、
活用へ

大学教育改革

月日	タイトル
2008年 12月24日	「学士課程教育の構築に向けて(答申)」(中央教育審議会) 【学士課程答申】
2012年 8月28日	「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて(答申)～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」(中央教育審議会) 【質的転換答申】
2014年 12月22日	「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について(答申)」(中央教育審議会) 【高大接続答申】

学士課程答申

学位授与の方針
(ディプロマ・ポリシー)

教育課程編成・実施の方針
(カリキュラム・ポリシー)

入学者受入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

教職員の職能開発
(FD・SD)

質保証の仕組みの
強化

財政支援

学士課程答申

学位授与の方針
(ディプロマ・ポリシー)

学士力

教育課程編成・実施の方針
(カリキュラム・ポリシー)

単位制度の
実質化

教育方法の
改善

入学者受入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

初年次教育

教職員の職能開発
(FD・SD)

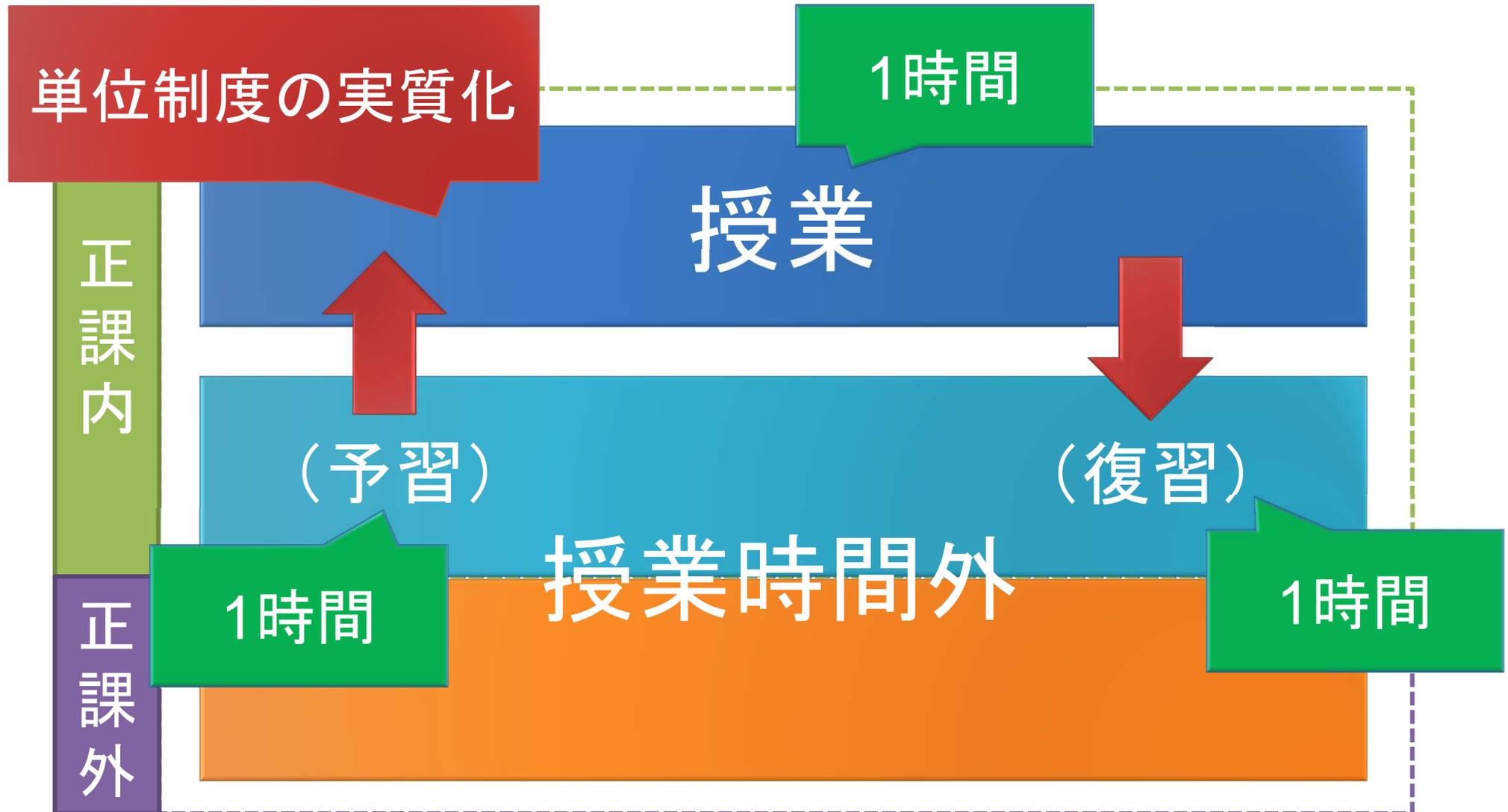
質保証の仕組みの
強化

財政支援

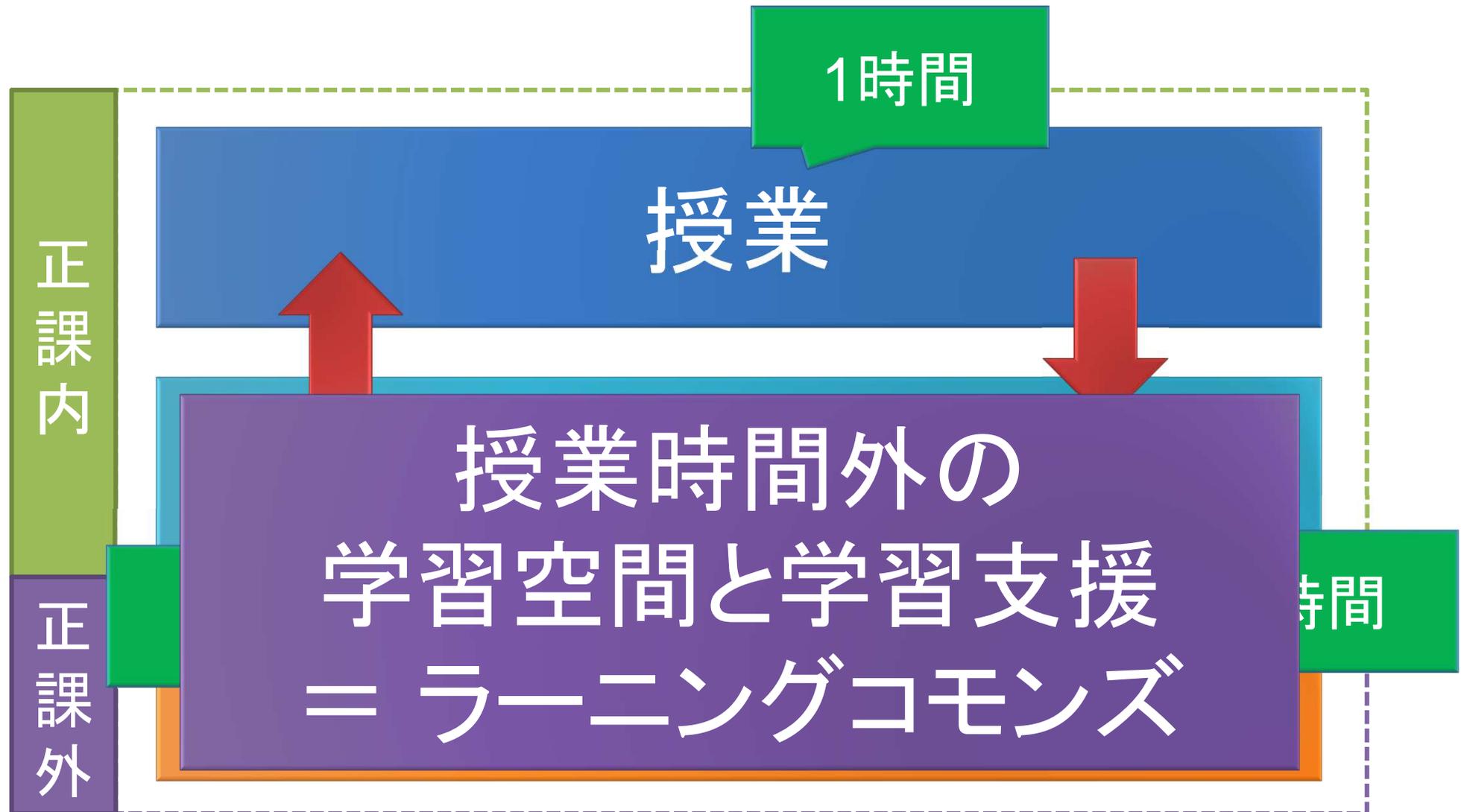
「学士力」と Essential Learning Outcomes

1 知識・理解	Knowledge of Human Cultures and the Physical and Natural World
(1)多文化・異文化に関する知識の理解 (2)人類の文化、社会と自然に関する知識の理解	
2 汎用的技能	Intellectual and Practical Skills
(1)コミュニケーション・スキル (2)数量的スキル (3)情報リテラシー (4)論理的思考力 (5)問題解決力	<ul style="list-style-type: none"> • Inquiry and analysis • Critical and creative thinking • Written and oral communication • Quantitative literacy • Information literacy • Teamwork and problem solving
3 態度・志向性	Personal and Social Responsibility
(1)自己管理能力 (2)チームワーク、リーダーシップ (3)倫理観 (4)市民としての社会的責任 (5)生涯学習力	<ul style="list-style-type: none"> • Civic knowledge and engagement—local and global • Intercultural knowledge and competence • Ethical reasoning and action • Foundations and skills for lifelong learning
4 統合的な学習経験と創造的思考力	Integrative and Applied Learning

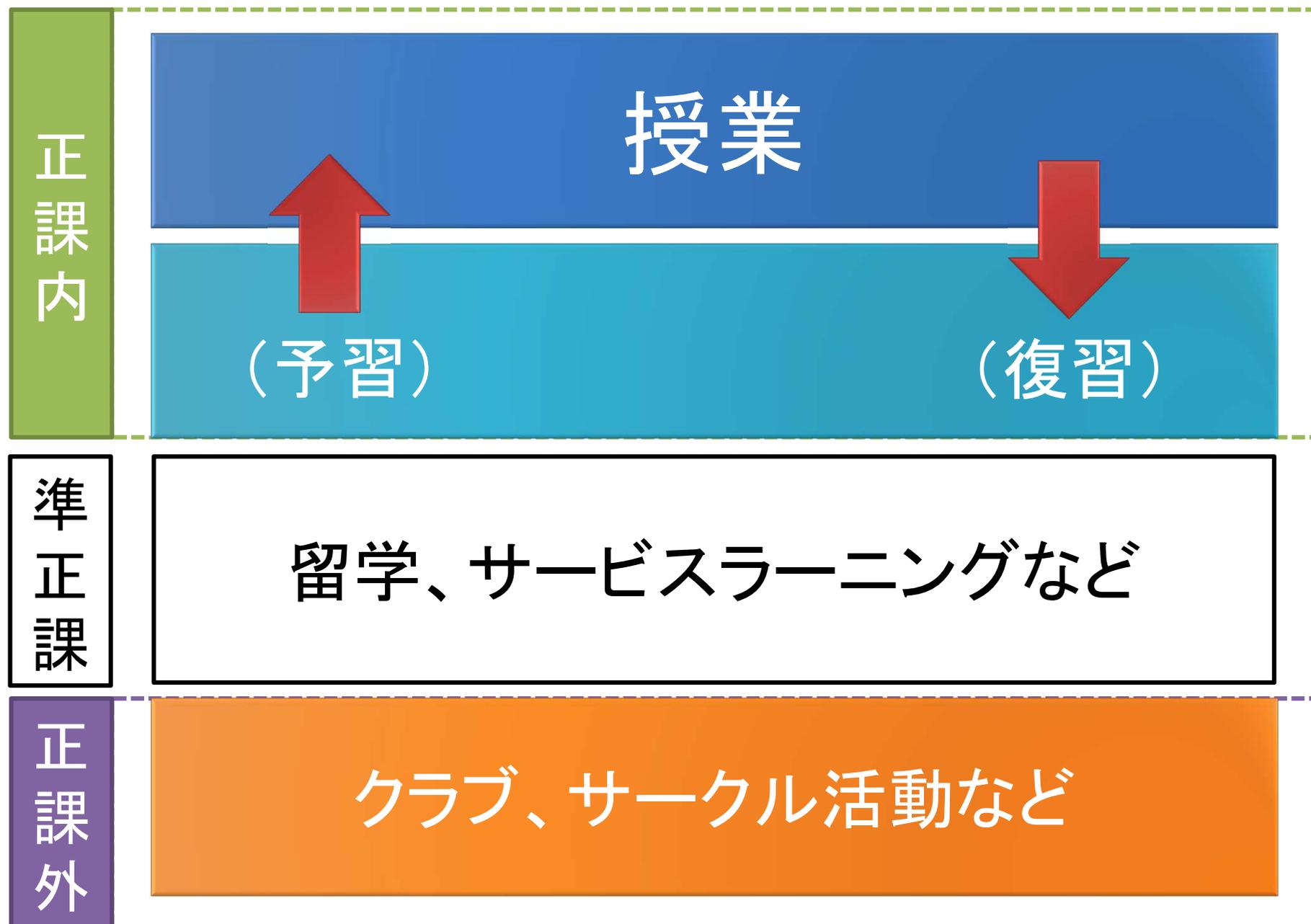
学士課程答申における大学教育の構造



学士課程答申における大学教育の構造



学士課程答申における大学教育の構造



質的転換答申とアクティブラーニング

目標

- 「生涯学び続け、主体的に考える」人材の育成

キーコンセプト

- アクティブラーニング

アクティブラーニング

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

受動的

能動的(アクティブ)

教員から
学生への
一方向的な
知識伝達型
講義

双方向型
講義

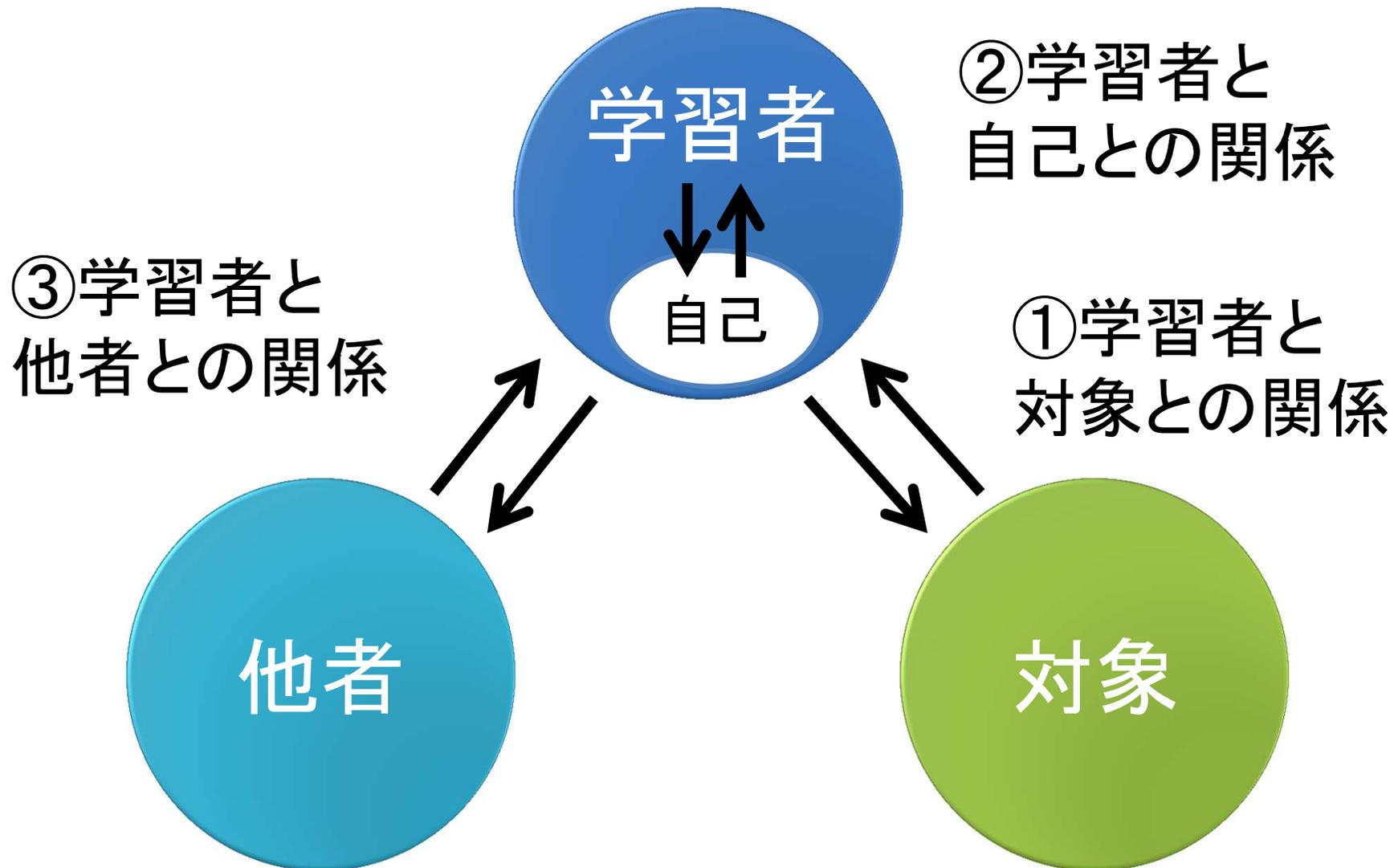
- ・コメントシート
- ・ミニッツペーパー
- ・小テスト
- ・授業評価アンケート

- ・ディスカッション
- ・プレゼンテーション
- ・ピアインストラクション
- ・TBL
(Team-Based Learning)
- ・PBL
(Problem/Project-Based Learning)

高大接続答申におけるアクティブラーニング

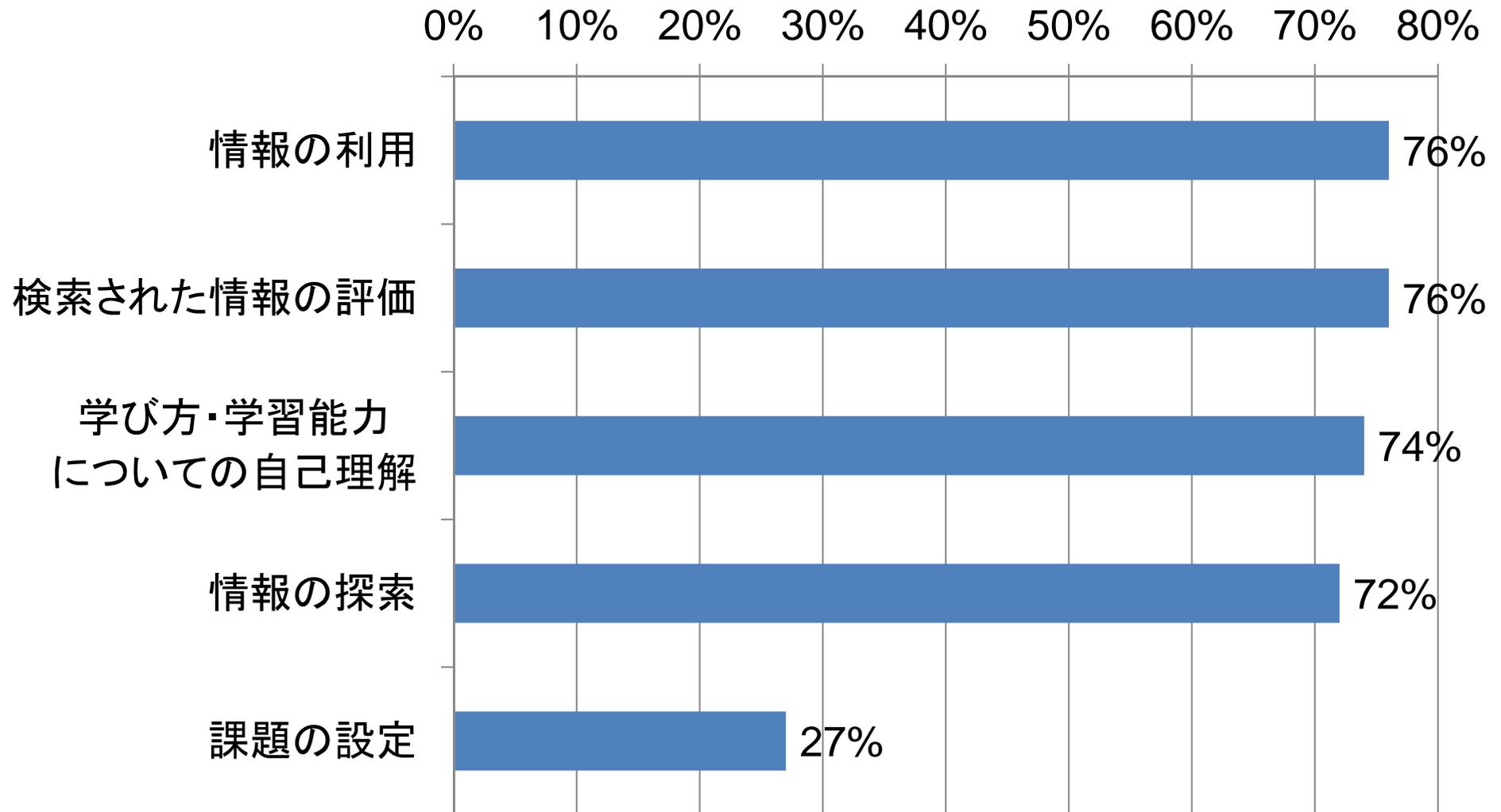
- 学生が主体性を持って**多様な人々と協力**して問題を発見し解を見いだしていく能動的学修
- 課題の発見と解決に向けた主体的・**協働的**な学習・指導方法であるアクティブ・ラーニング
- 主体性を持って**多様な人々と協力**して学ぶことのできるアクティブ・ラーニング
- 従来のような知識の伝達・注入を中心とした授業から、学生が主体性を持って**多様な人々と協力**して問題を発見し解を見いだしていくアクティブ・ラーニングに転換

対話的学びの三位一体論(佐藤、1995)



(出典: 佐藤学. 「学びの対話的实践へ」『学びへの誘い』佐伯胖, 藤田英典, 佐藤学編. 東京大学出版会, 1995. (シリーズ学びと文化, 1), p.49-91.を参考に作成。)

「問題を発見し」「課題の発見」というが...

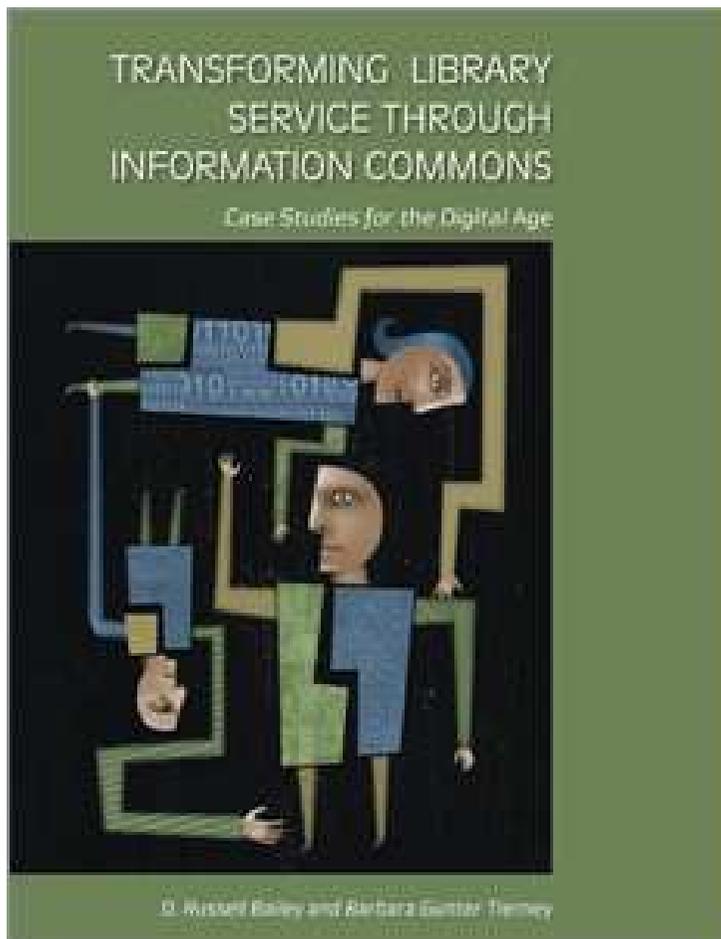


Source: "Staying Smart: How Today's Graduates Continue Learning Once They Complete College," Alison J. Head, Project Information Literacy Research Report, January 5, 2016. http://projectinfolit.org/images/pdfs/2016_lifelonglearning_fullreport.pdf, (accessed 2016-01-18).

まとめ

- 大学教育のキーコンセプトの変化
 - 受動的から能動的へ
- アクティブラーニング
 - 主体的な学び
 - 協力、協同、協働
 - 沈思黙考のための時間
 - 生涯学習社会への対応
- 教育方法におけるさまざまな工夫
- 環境に対応した学生の学習方法・態度の変化(大学教育、情報社会など)

大学図書館は、こうしたトレンドを受けたサービスを展開しているか、そのための準備は十分か



Transforming Library Service
Through Information Commons:
Case Studies for the Digital Age

インフォメーションcommonsを通じた
図書館サービスの変革: デジタル時代
のための事例研究